

【ACKグループ 3カ年経営計画 売上高480億円目標 技術士930人に増員】

売上高480億円目標

ACKグループ 技術士930人に増員

ACKグループは、来期(17年9月期)からの3カ年経営計画を公表した。最終年度の19年9月期の目標は、売上高480億円、営業利益17億800万円、営業利益率3・7%と設定した。今期(16年9月期)の業績は、海外事業の受注が順調に

推移し、期初予想の受注高約400億円を上回る見通し。17年9月期は今期を30億円上回る売上高430億円の達成を目指す。15日に都内で開いたグループ戦略会議で、野崎秀則社長は、今期の業績見通しについて

初の目標を上回ることを公表。来期の目標は売上高430億円、営業利益13億3000万円、営業利益率3・1%と設定したことを明らかにした。

3カ年経営計画は、昨年公表した計画の改定版で、最終の19年9月期の売上高目標480億円を



実現するための重点化事業の受注高目標を、14年9月期の1・4倍以上とした。3カ年で増やす社員数は200人で、うち女性60人、海外で活躍するグローバル人材が70人。技術士の資格保有者は、17年9月期の820人(見込み)から930人に増やす。会議では、「中期経営計画ACKG2013強化」で掲げた20年度の売上高500億円、営業利益20億円の目標を継続する方針を確認し、野崎秀則社長が「さらなる各社の個の強化、連携の強化、人材の交流が重要になる」とグループ各社の幹部に呼び掛けた。